

関東大震災を学び これからの日本のあり方を考えよう！

- インターネットやスマートフォンを駆使している今の私たちは、先人達が残してくれた貴重な体験から、十分学べているのでしょうか？ 教訓として活かす準備ができているのでしょうか？
- 関東大震災は近代化した首都圏を襲った唯一の巨大地震であり、その被害の大きさ、社会的インパクトとも比較を絶する災害でした。この関東大震災から100年が経過します。
- 関東大震災を学びなおすことで、これからの都市計画、首都圏の人口集中と地方の過疎化、インフラの老朽化、エネルギー問題など、今後の日本のあり方を皆様と一緒に考えたいと思います。

参加申し込み



<https://forms.gle/9NQ-QpNx7bzNTFg6d8>



※Link↑

1923関東大震災報告書
(内閣府)を使います。

Input: 5回の連続勉強会 Morning 6~8 by Zoom

2023年
第1回 1/21(土)

第一編 発災とメカニズム

首都圏を襲う2つの地震タイプとは？

4種類の被害形態と被害の全体像とは？ 地盤と揺れの関係とは？ など。

毎回午前6時~8時。早起きしてね (*^^)v

第2回 2/18(土)

第二編 救援と救済

国、東京府・市、横浜・神奈川県への対応とは？ 現在にも関係する流言蜚語とは？

住民はどのように災害対策に関わっていたのか？ 応援職員が派遣されたのか？ など。

第4回 4/15(土)

第三編 復興と社会的インパクト

今の私たちが恩恵を受けている帝都復興計画とは？ 住まい・生活・産業の復興とは？

復興の問題点とは？ など。

第5回 5/20(土)

Output: シンポジウム 2023年6月3日(土) 13~17

2023年6月3日(土) 13:00~17:00 @東京大学生産技術研究所 + Zoom

内容：基調講演、連続勉強会の成果発表（予定）

登壇者：石井晴雄（元内閣府政策統括官（防災担当）付 防災総括担当 企画官）・北原糸子（歴史学者）

目黒公郎・沼田宗純（東京大学生産技術研究所附属災害対策トレーニングセンター）

勉強会参加者（※連続勉強会の中で、発表者を決定します。）

主催：東京大学生産技術研究所附属災害対策トレーニングセンター（DMTC）

後援：内閣府政策統括官（防災担当）、東京都、埼玉県、横浜市、川崎市、相模原市、さいたま市

協力：東京大学大学院情報学環附属総合防災情報研究センター（CIDIR）

一般社団法人災害対策トレーニングセンター支援会（DMTC-SA）

災害対策トレーニングプログラムの研究に関する研究会（RC95）

参加費：無料

参加者：関東大震災のことを知って、これからの日本のあり方を考えたい方なら、どなたでも。

問い合わせ先：

DMTC-SA
一般社団法人災害対策トレーニングセンター支援会

